



ただきました。本堂はご門徒様にとって、いつも温かく見守ってくださる阿弥陀様のお側におれる心の安らぎの場であり、

## 起工式を執り行いました

覚法寺本堂改築工事状況

第3回目



季刊

覚法寺

〒862-0956  
熊本市中央区水前寺公園1-25  
電話 (096) 383-4874  
FAX (096) 383-3050  
kakuhoji@eagle.ocn.ne.jp  
<http://www.facebook.com/kakuhoji>

一人一人がお念仏のお心を深める場であり、皆さんのお念仏の輪を広げる場でもあります。

本堂・お御堂の場を、別に「道場」とも表現されます。道場と言いますと、厳しいイメージが湧くかもしれませんが、お念仏の道場は阿弥陀様のおられる道場なので、厳しい場所ではありません。以前の本堂では、毎日たくさんのお子ども達が遊びに来るよ



参列者のお焼香



参列者のお焼香



起工式集合写真



通り抜けが出来ます

いままでは電車通り側の無量寿堂の駐車場から、新納骨堂の仮本堂や事務所までの移動に、外を迂回していただきご不便をおかけしてりましたが、通り抜けできる直通的通路が整備されました。

多くの方々が新しい本堂の完成を心待ちにされております。

安心安全な建設と安心安全な本堂になるよう心がけて参ります。

## 住職雑記

寺子屋と識字率の話

先日お寺で夏休みの地藏盆子ども会を開催しました。今は本堂がないため、食事程度の集まりとなりましたが、以前は一泊の子ども会で、「夏の寺子屋子ども会」と名称しておりました。この「寺子屋」ですが、昔の江戸時代では寺子屋が大いに役立っておりまして。▼ある本より、明治時代の文明開化が訪れ西洋諸国が植民地政策にて世界中を植民地化していくなか、日本という国が植民地化されることなく対等にやってこれたのは、藩校や寺子屋で教育がなされたこと。もう一つは庶民まで楽しめる出版物の普及によるものだというのです。▼昨年のある研修会での話ですが、江戸時代の藩校や寺子屋の存在で、幕末から明治時代に入っても日本人は西洋諸国に屈することなく対等にやってこれた理由が、日本人の識字率の高さに関係しているとのことでした。日本人の識字率の高さにより庶民まで出版物も普通に読めて、どんどん学識を吸収していくことができ、その識字率の高さというものが、西洋諸国よりも遥かに高く、その当時来日していたイギリス人の学者が驚愕したとのこと。▼「ペンが剣よりも強し」という言葉がありますが、教育というものの重要性を物語るお話でありました。



## 覚法寺 歓喜会・盂蘭盆会



八月十六日(土)は覚

法寺にて歓喜会(盂蘭盆会)の法要が行われました。十時より新納骨堂(仮本堂)をはじめ納骨堂各所でお勤めがあり、お参りに来られた方と一緒にお念仏をお称えすることができました。

また、京塚納骨所でもお勤めがあり、今年も猛暑のなか数名の方がお参り下さいました。

## ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金へ

ご協力ありがとうございます。

今回は令和7年8月の熊本県豪雨災害関連として、熊本教区教務所「熊本豪雨災害義援金」へ5万円をダーナ募金より寄付致しました。

どうぞ今後ともあなたのささやかなお気持ちをご届けください。

お寺の仮事務所入り口そばに「ダーナ募金」「子どもたちの笑顔のために募金」それぞれ募金箱を設置しております。

(はちすの会ダーナ基金係より)

「身体が不自由になって気づかされる私」

音光寺澄子

『感謝』の反対の言葉は何か、わかりますか？以前、ある先生のこの問いに即座に答えることができなかった私。

只今、その答えの真意を日々体験させて頂いております。

私は、現在休職中です。七月末に右足膝半月板損傷の手術を受けその後三か月の安静とりハビリの為の療養生活に入っております。ある日、杖をついてコンビニへ入りました。そこには外国人の店員さん。その店員さんを見るや否や、外国人の方は何だか怖いような気がする、と身構えてしまいました。そんな中、私は何気に杖を落としてしまいました。九十度以上、上体を曲げることが出来なかった私は杖を自分で取ることさえ出来ません。

「わあー、困ったどうしよう！」と、思った矢先に、外国人の店員さんがすかさず私が落とした杖をサッと取って下さいました。「なんと有難い！」と、感謝の気持ちでいっぱいになり、怖いと身構えていた私は、瞬時に心が解れました。

外国人の方は何だか怖いという先入観を勝手に抱いていた私が、親切を受けたとたんに、安全な良い人の一瞬にして見方が変わるのですから……。なんて身勝手な私なんでしょう!!まさに、煩惱の眼に遮られている私でありました。

『煩惱にまなこさえられて 摂取の光明み ざれども 大悲ものうきことなくて つねにわが身をてらすなり』

このような親鸞聖人のお言葉がございます。

私たちは、自分の経験や思い込みで物事を判断してしまいがちです。それが、苦しみを生む根本原因です。こんな私たちだからこそ、阿弥陀仏は大慈悲心でもって、常に私たちを照らし、私たちが実相のありのままを見つめられ、苦しむことなく真実のしあわせを歩むようお願いして下さっています。しかしながら、私たちは煩惱によってその阿弥陀仏のおはたらきに気づいていないのが実状です。

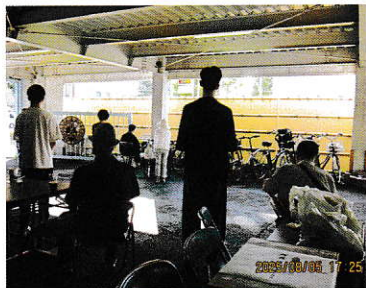
気づきがないということは、当たり前のように生きているのであります。そこに、『感謝』はあるのでしょうか。まさに、『感謝』の反対は、『当たり前』です。今まで、何でもできて当たり前のように生活していました。それが出来なくなり、今在る私は、いかに当たり前でなく有難いことなのか、お陰様の中で生き生かされているのかを痛感しておる次第です。

また、近頃お参りで姿を見せない私を、案じて下さる御門徒様が多くいらつしやることを聞かせて頂きました。多くの方々の思いやりのお心に支えられているお陰様に、改めて知らされ大変有難く、感謝しがございます。この場を借りまして、心より御礼申し上げます。私は、十一月に復帰致しますが、また十二月には左足膝半月板損傷の手術を受け、再び休職に入ります。

よって、完全に復帰するのは来年四月になります。皆さまには、多大なるご迷惑をお掛け致しますこと、心よりお詫び申し上げます。何卒ご了承くださいます。復帰後、皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。

合掌





八月五日(火)に覚法寺の境内にて夏の子ども会・地蔵盆を夕方五時から開催しました。今年は参加者が十七名で、近くにお住まいの方や、遠くからボランティアでお手伝いに来てくれた高校生もいました。

まず、地蔵盆では、お寺の境内にあるお地蔵さんの前でお勤めがあり、その後に覚法寺住職からお話がありました。

続いて子ども会では、お寺の境内でバーベキューを行いました。なかなか地域の子ども達と大人との間で食卓を囲むことはないのですが、今回の子ども会を通して子供たち同士だけでなく大人も交えた交流ができたことで地域の繋がりを感ぜられる賑やかな会になりました。

## 覚法寺『夏の子ども会・地蔵盆』

覚法寺仏教婦人会

## 蓮華の会だより



私達の主な活動

・・・(夏より初秋へ)・・・

7月17日に起工式を行い本堂の改築工事が始まりました。  
会員の皆さまには、活動場所に関してご迷惑をおかけしておりますが  
酷暑にも負けない熱い気持ちで、経本入れの作成(活動)をしています。



7月 ○経本入れ作成(7月16日)

仮事務所にてお勤めのあと、経本入れ制作の続きを行いました。  
皆さん慣れた手つきで、進んでいます。



8月 ○盂蘭盆会法要(8月16日)

無量寿堂・新納骨堂・仮本堂・京塚納骨所にて、一座経のお勤めをしました。  
(酷暑のため、法話なし)



9月 ○経本入れ作成(9月16日)

前回(7月)の続きを行いました。目標の数までコツコツと頑張っております。

○秋のお彼岸法要(9月23日)

無量寿堂・新納骨堂・仮本堂にて、一座経のお勤めをしました。  
(仮本堂において、暑さ対策のため、法話なし)



覚法寺本堂改築懇志進納者 (敬称略)  
 「懇ろなる御志を賜りまして誠にありがとうございます」

※令和七年八月三十一日現在  
 進納者総数 五三一 名様  
 合計金額 七〇、八四二、三三七円

十月からのお勤め(晨朝)の  
 時間が七時になりました。

※特別懇志の本山院号のお扱い  
 (先着六十名様分)は、定数に達して  
 終了いたしました。

※本堂改築懇志進納は、  
 引き続き受け付けております。  
 ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

### 夏休みに覚法寺でお手伝い



八月九日から九月  
 月四日の間、覚法  
 寺にはお手伝いで  
 石本敏大君が来て  
 くれていました。

敏大君は、小学  
 生のころから覚法  
 寺に遊びに来てい  
 て、現在は県外の大学に通う大学  
 生です。

敏大君は主に、電話対応や、来  
 寺されたご門徒さんの対応などを  
 してもらいました。

現在大学生ながら落ち着いてい  
 て、誰に対しても優しく、一生懸  
 命お手伝いをしてくれました。

小学生の頃からお寺に遊びに来  
 ていた子がこのように大きくなっ  
 てもお寺に来てくれる、ましてや  
 お手伝いもしてくれる事はとても

喜ばしい事であります。  
 改めてお寺と地域の子ども達と  
 の繋がりがあってからこそだとい  
 う事を思う事でありました。

### 新納骨堂申込み状況

|         |      |
|---------|------|
| 標準型     | 517基 |
| 354基申込み |      |
| 小型      | 195基 |
| 195基申込み |      |
| 大型      | 30基  |
| 15基申込み  |      |
| 残       | 15基  |

おかげさまで、総数742基のう  
 ち564基の申込みがあり、残り  
 178基となりました。リビング、  
 熊日スパイスの広告をご覧になつた  
 方や、口コミで覚法寺のご門徒以外  
 の方のお問合せも増えております。  
 納骨堂をお考えの方は、早めにご相談  
 ください。

小型を希望される方が多いので、  
 五階にも小型の納骨堂を入れること  
 にしました。こちらは令和9年から  
 という事になります。

毎月16日7時 (宗祖親鸞聖人の御命日)  
 お寺に参ろう。 門信徒総参拝

趣味の写真集や自分史を  
 作ってみませんか？  
 1冊よりお作り致します。



PRINTING & COPY

株式会社 太陽社

●企画印刷 〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18  
 ●一般印刷物 TEL 096-366-1251  
 ●カラーコピー FAX 096-364-7672  
 ●データ入力



<http://www.taiyo-sha.net>

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工  
 (宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の 合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37  
 (三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720